

小豆沢病院地域医療連携センター便り

あずき通信 2016年4月 第12号

私たちは患者様の人権を大切に、命は平等の立場で安心して利用できる病院を目指します
※当院では差額ベッド代を頂いておりません

小豆沢病院ホームページ www.kenbun.or.jp

発行／医療法人財団健康文化会

小豆沢(あずさわ)病院地域医療連携センター

発行責任者 事務長: 國吉 宣

東京都板橋区小豆沢 1-6-8

電話 03-3968-7506(直通) Fax03-3968-7507

(財)日本医療機能評価機構認定(3rdG, Ver1.1)

新年度にあたって、篠田 格院長よりご挨拶



こんにちは、小豆沢病院の院長をしております篠田と申します。

小豆沢病院は中小病院であり、大病院ほどの医療設備や職員体制は揃ってはいませんが、同法人内に板橋区、練馬区、北区に7つの診療所を持ち、地域医療に根ざした医療機関として差額ベッド代を徴収せず親身になった医療を頑張って提供しております。

当院は、一般病棟と地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟を有し、施設に入所中や診療所通院中や往診患者さん等の急性期対応や、超急性期を過ぎた患者さんの治療、リハビリ目的や在宅医療の調整、透析治療目的の入院に対応しております。

これからも、他医療機関の方々と「顔の見える連携協力」を深め、地域の皆様の医療に貢献できるよう努力していきたいと思っております。当院へのご要望などございましたらお気軽にお申し付け下さい。どうぞよろしくお願い致します。

地域医療連携センターの取り組みについて

地域連携交流会・ランチミーティングを開催！！

☆ 昨年10月と今年の1月の2回、地域医療連携センター主催で、板橋区や北区の近隣のケアマネージャーさんや介護施設の方などを対象に「地域連携交流会」を開催し、合わせて72名の方々にご参加していただきました。

当院の医療相談員が「無料・低額診療事業の取り組みについて」、地域包括ケア病棟看護師長が「小豆沢病院の地域包括ケア病棟について」それぞれお話をさせていただき、その後、病棟やリハビリ室を見学していただきました。

参加された方からは、無料低額診療事業を行うメリットや、地域包括ケア病棟と老人保健施設との違いについてなど多くの質問が出されました。



☆ 地域連携交流会開催を受けて、昨年12月、今年1月、2月と3回に渡り、近隣のケアマネージャーさん達を対象に「ランチミーティング」を開催しました。合わせて17名の方々にご参加していただき、率直なご意見を伺う事ができました。



当院からは、一瀬副院長をはじめ地域医療連携センターのスタッフが参加し、ランチを食ながらケアマネージャーさん達が今現在困っていることや、病院への意見などをお聞かせいただきました。

小豆沢病院で行っている医療活動を知っていただき、地域の皆様に気軽に相談をしていただきたいと思います。企画した初の試みでしたが、今後もまた新たな企画を考えていきたいと思っておりますのでぜひご参加下さい。

職場紹介＜透析室＞ 持田美佐子 透析室看護師長

身体の背中側に2つあるこぶし大の臓器「腎臓」が、何かしらの理由で機能なくなった場合、代わりに「人工腎臓:ダイライザー」を利用し「腎臓」の代わりにしてもらう治療を『透析』と言います。

小豆沢病院では、透析治療を始めてから30年以上経過しています。

当院透析室のベッドは25床あり、月曜から土曜まで、午前・午後の透析を行い、お正月・お盆・台風関係なく週3回3～5時間の治療が必要な患者さんの対応をしています。

医長の佐藤栄三郎医師をはじめ、透析専門医の非常勤医師が4名、看護師5名、看護助手1名、臨床工学技士5名で安全な透析医療を提供できるよう日々努力しています。



空気が澄んだ日には窓から富士山が見えます



病院6階にある透析室

高齢での透析導入が進む中で患者さん・ご家族・生活の中で関わる人たちと“今、何が心配なのか”“からだの状況はどうなのか”“透析とはどんなことなのか”など情報を共有していきたいと考えています。患者さんにご家族の不安や疑問を解消するために、看護師スタッフは患者さんご家族との連絡ノートを活用しています。また、介護保険サービス担当者会議にも参加しています。

脳血管障害、骨折、心疾患などで「専門治療は終了したが、足腰が弱ってすぐに自宅へ帰るのは不安がある」という患者さんは、当院の地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟に入院してリハビリを行います。

透析を行いながらリハビリを受けられる患者さんもいらっしゃいますが、その患者さんたちが元気に自宅へ帰れるよう病棟スタッフなどと連携を取り、安心して透析が受けられるよう努力しています。

なお、当院ではバスキュラーアクセスのトラブル発生時や、合併症を発症した時など専門医の治療が必要な場合は、近隣の総合病院や大学病院へのご紹介を行なっています。

また、患者さんお一人での透析通院が困難な場合、無料で送迎を行なっていますのでご相談下さい。



透析の送迎もご相談ください

♥♥♥♥住み慣れた地域で、元気で暮らせるように
皆さんのお手伝いをします。♥♥♥♥



入院(転院)相談のご連絡先

小豆沢病院 地域医療連携センター 03-3968-7506(直通)

まずは、お電話でご相談下さい。

平日:9:00～17:00

土曜:9:00～12:00 (日曜・祝日は不在となります)



ゴールデンウィーク中など、レスパイト(一時的にご家族の介護が困難になった際の患者さんの預かり入院)目的でのご入院のご相談もお受けします。

なお、入院(転院)相談の際には、かかりつけ医の診療情報提供書が必要となりますのでよろしくお願い致します。